

(43)公開日 平成15年4月15日(2003.4.15)

(51) Int.Cl.  
A 6 1 M 25/00  
A 6 1 B 18/12  
A 6 1 N 1/40

### 識別記号

F I  
A 6 1 N 1/40  
A 6 1 M 25/00  
A 6 1 B 17/39

テーマコード(参考)  
4C053  
4C060  
4C167

審査請求 未請求 請求項の数10 ○L (全 7 頁)

(21)出願番号 特願2001-310450(P2001-310450)

(71)出願人 000153041  
株式会社日本メディックス  
千葉県松戸市南花島向町315番地1

(22)出願日 平成13年10月 5 日(2001. 10. 5)

(72)発明者 長谷部 一成  
千葉県松戸市南花島向町315-1 株式会  
社日本メディックス内  
(74)代理人 100080768  
弁理士 村田 實

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 加熱式バルーンカテーテル装置およびその加熱方法

(57) 【要約】

【課題】バルーンを全体的に均一に加熱できるようにする。

【解決手段】カテーテル本体1の先端部に取付けたバルーン2内に、高周波加熱電極3と温度センサ4が配設される。肺静脈口12aにバルーン2が当接された状態で、電極3によってバルーン2内の加熱用液体を加熱することにより、肺静脈口12aが環状に焼灼される。カテーテル本体1の基端部に接続されたコネクタ20には、リザーバ41が接続される。リザーバ41のダイヤフラム42をモータ43によって往復駆動することによって、リザーバ41内の加熱用液体が震動され、この震動が、コネクタ20内の加熱用液体およびカテーテル本体1内の加熱用液体を介して、バルーン2内の加熱用液体に伝達される。加熱用電極3で加熱された高温の加熱用液体は、上昇してバルーン2の上部に集まろうとするが、バルーン2内の加熱用液体が震動によって攪拌するために、バルーン2が全体的に均一に加熱される。

